

2025 年 7 月 28 日

軽乗用 EV「N-ONE e:」をホームページで先行公開 ～“日常のパートナー”として、移動と暮らしを支える電気自動車～

Honda は、2025 年秋に発売を予定している新型軽乗用 EV（電気自動車）「N-ONE e:（エヌワン イー）」に関する情報を、本日ホームページで先行公開しました。発売に先立ち、8 月 1 日（金）に先行予約の受付を開始します。

Honda は、カーボンニュートラルの実現に向け、日本における電動化を進めるべく、2024 年 10 月に発売した軽商用 EV「N-VAN e:」に続いて、このたび、乗用ユースの軽 EV を投入します。

N-ONE e: 先行情報サイト：<https://www.honda.co.jp/N-ONE-e/new/>



N-ONE e:

<N-ONE e: 概要>

■グランドコンセプト

「e:Daily Partner（イー デイリー パートナー）」

日本の市場に求められる EV のあり方を追求し開発した N-ONE e:は、愛着の湧くエクステリアデザインと、ゆとりある室内空間や取り回しの良さを Honda 乗用車の原点である N360 から継承しながら、EV ならではの力強くクリーンな走りと静粛性を加えることで、幅広いお客様に支持されるスタンダードな EV となることを目指しました。お客様の移動と暮らしを支え、何気ない毎日を生き生きと活発なものにする“日常のパートナー”として、日々の生活になじむシンプルさを追求するとともに、給電機能や V2H（Vehicle to Home）^{※1} など、EV ならではの便利で暮らしに役立つ機能も備えています。また、航続距離は、毎日の生活の中で安心してご使用いただけるよう、WLTC モード^{※2}で 270km 以上を達成しています。

※1 EV の蓄えた電力を自宅で使えるようにするシステム

※2 Worldwide harmonized Light vehicles Test Cycle モードの略 市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用时间配分で構成した試験法

■エクステリアデザイン

シンプルながら愛着のわく N-ONE のデザインをベースに、EV ならではのクリーンさを加えました。フロントフェンダーやリア周りのガラスを含めたテールゲート全体の強く張りのある曲面により、上質な立体感とすっきりとした印象を両立。また、リアバンパーはフェンダーに沿って丸くしぼり、後方からもリアタイヤが見えるようにすることで軽快で安定したスタンスを表現しています。

ボディーカラーは、お客さまの気持ちが晴れやかになるような 5 色を設定。新色の「チアフルグリーン」は、N-ONE e:のグランドコンセプトを体現する、日常に彩りと前向きな気持ちを添えるカラーとしています。

■インテリアデザイン

インテリアは、視界に入るインストルメントパネル上部を薄く軽やかな造形とし、四隅や角を感じさせないようなデザインとすることで、室内の広がりを感じる空間としています。またインストルメントパネルやドアパネルの一部、ステアリングパッドに同系色の明るいカラーを用いることで、室内全体の一体感と水平基調の印象を高め、快適な運転環境を目指しました。

また、ボンネットとインストルメントパネルの上面をフラットに仕上げることで、前方が見渡しやすく、車幅感覚もつかみやすい、安心して運転できる視界を追求しました。

さらに、機能ごとの操作スイッチを使いやすくするためにインストルメントパネル中央に集中的に配置しました。中段には運転席からも手が届きやすいワイドトレイを設置し、日常使いにおける利便性を高めています。



「e: L ボディーカラーはチアフルグリーン」



「e: G」

■リソースサーキュレーションの取り組み

Honda は、限りある資源を有効に活用するため、低エネルギーでの資源循環を可能にする「リソースサーキュレーション」に取り組んでいます。N-ONE e:においても枯渇性資源の使用を可能な限り抑え、再資源化することを目的にリソースサーキュレーションの取り組みを継続して、Honda 車の廃棄バンパーを再利用した「バンパーリサイクル材」をフロントグリルに採用しています。

またインテリアでは、インストルメントパネル部に植物由来のバイオ樹脂を水平アクセントとして使用し、フロアカーペットやインシュレーターには、使用済みペットボトルや Honda の従業員が使用した作業服を再資源化した素材を活用しています。

Honda は、N-ONE e:を通じて、日々の移動が「より良い未来」へとつながることを目指しています。

いいふれあいを
お客様からのお問い合わせは、「お客様相談センター0120-112010」へお願い致します。